

## 【プログラム①：わが家の家庭教育】

☆ねらい：家庭教育について考え、自分の家庭でも積極的に取り組んでいこう。

### 《プログラムについて》

#### ◇プログラムのねらいの説明

○保護者の中には、「家庭教育」ということばを聞くと、つい難しく考えてしまい「どのようなことをやったらいいかわからない」と不安に思うことがある。  
「わが家の1か条」づくりを通して、「家庭教育」では一つの正解があるのではなく、それぞれの家庭でできることからはじめていこうとする前向きな気持ちになれるようにする。

#### ◇熊本県の保護者の意識

○「少子高齢化における家庭教育及び行政支援のあり方に関する調査研究」のアンケート（熊本県実施）

回答者・・・0歳から小学校2年生までの子どもをもつ父母

「子育てで心がけていること」、「家庭教育で大事にしていること」

・・・あいさつやお礼がちゃんと言えること

☆想定時間：60分

☆人数：何人でも可（展開では4～6人組を作る）

☆準備物：振り返りシート（人数分）

☆主な活動

- ①子育てで「大事にしたいこと」を考える。
- ②「わが家の1か条」を考え、紹介し合う。

## 【プログラム①：わが家の家庭教育】

### I 展 開 例

(形態 全→全体での活動 ペ→ペア グ→グループ 個→個人)

	形態	講 座 の 流 れ
導 入 10 分	全	1. 活動のねらいを知る。
	グ	2. アイスブレイクをする。 〔例〕「からだジャンケン」をする。 3. グループ作りをする。 (2.アイスブレイクでグループを作ったらそのままよい)



展 開 40 分	全	4. 子育てで「大事にしたいこと」にはどんなことがあるか出し合う。(10分) ○「くまもと家庭教育10か条」を知る。
	個	5. 「わが家の1か条」を考える。(10分) ※「わが家の1か条コンクール」の作品を紹介する。 ※早くできた人の「1か条」を紹介し、考えている人のヒントにする。
	グ	6. 考えたことを紹介し合う。(10分) ・紹介するとき、1か条を作るときに考えたことや「わが家の1か条」に取り上げた項目にした理由などもあわせて話す。
	全	○話し合ったことをいくつかのグループから紹介してもらおう。(10分)

ま と め 10 分	全	7. 振り返り、分かち合う。 ○いろいろな意見を聞いてどう思ったかや感想などを紹介しあう。
	全	8. 活動をまとめる。 「子育てで大事にしたいこと」はいろいろあるが、その中から家庭でできることからやっいていこうとする気持ちが大事。 ○平成21年版ドキドキ子育て(家庭教育手帳乳幼児編) P41～P51を読み合わせる。(参考)

## II 基本的な説明・問いかけ例

### 〔 活動 〕

### 〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

### 〔 備考 〕

#### 1. ねらいを知らせる

○この講座のキーワードは「わが家のルール」です。それぞれの家庭で大事にしていることがあると思います。その大事にしていることについて考えていきたいと思ひます。

用紙に書いたキーワードの提示。

#### 2. アイスブレイク 「からだジャンケン」

○今から「からだジャンケン」というアイスブレイクをします。自分の体を使ってジャンケンをします。説明をします。グーは、足を閉じて両手を胸の前で交差します。こうです。チョキは、足は片方を前に出し、もう片方はやや後ろに引きます。同時に、両手を上に上げます。こうです。最後にパーです。パーは両足を広げ、同時に、両手も広げます。このとき、肩より下方向になるようにしてください。こうです。いいですか。やり方です。2人組になり背中合わせに立ちます。「ジャンケンポン」の合図で振り向き、ポーズをとります。ルールとして、ポーズがはっきりわからなかったり、よろけたりした場合はアウトです。まず、一斉に私と練習してみましよう。「ジャンケンポン」（どうですか？）勝ちましたか？1人の人と2回勝負してください。相手にジャンケンをお願いするときは、笑顔で微笑みましよう。それではやってみましよう。できるだけ大きな声でかけ声を言ってくださいね。（全体に声をかけ、盛り上げる。）

進行役は、元気に声を出し、盛り上げる。

参加者が動けるスペースが必要。広い場所がない時はちがうアイスブレイクをする。

#### 3. グループ作り

○（5分間ぐらい行う）どうでしたか？最後にジャンケンした人とペアになってください。そして、さらにどこかのペアと合体してください。今日はこの4人で次の活動をしたと思ひます。

グループの人数は4～6人ぐらいが適当。

#### 4. 「くまもと家庭教育10か条」を知る

○みなさんととてもいい表情ですね。みなさんゲームのルールが守れていましたね。ところで、今日の講座のテーマも「ルール」でしたね。ルールを守るってとても大事なことです。みなさんはそれぞれの家庭で、子育てを行ううえで大事にしていることにはどんなことがありますか。グループで紹介し合ってください。（しばらく待つ）

○いろいろな意見が出されてましたね。いくつか紹介してほしいと思ひます。（指名でもよい）

大事にしていること、大事にしたいことは、それぞれの家庭で違うことを押さえる。

## 5. 「1か条」を考える

○今、みなさんからいろいろ出してもらいましたように、子育てしていく上で大事なことはいろいろあります。そのことに関係がありますが、みなさんは「くまもと家庭教育10か条」ということばを聞いたことがありますか。(ポスター、リーフレット、子育てどぎゃん等を使って、紹介する。10か条を印刷して配布するとよい。)これをみなさんで読んでみましょう。(進行役が読み上げててもよいし、進行役と参加者が一緒に読み合わせていてもよい。)

「くまもと家庭教育10か条」を紹介するとき、ポスターやリーフレット、子育てどぎゃんのDVDを使って紹介すると効果的である。

○第10条に「わが家の1か条」とありますね。これから、それぞれの家庭で子育てで大事にしていること、家庭のルールを1か条という形にしてみたいと思います。いいですか。難しく考えなくていいですよ。さきほどグループで出し合ったことを参考にして考えてください。考えたことは、ワークシートに書いてください。

「わが家の1か条」づくりに戸惑う参加者もいると思うので、他の作品(参加者や文部科学省募集の作品)を紹介したりする。

## 6. 紹介し合う

○「わが家の1か条」として考えたことをグループで紹介してください。その時、なぜ「その項目」を考えたのか、それを取り上げた理由なども併せて紹介してください。(しばらく待つ。)

○グループで、どんなことが出されましたか。紹介してください。(指名でもよい。)

進行役は、各グループの意見を聞いてまわる。その中から、発表指名するところを心づもりしておく。

## 7. 振り返り

○それぞれのグループの意見を聞いてどう思いましたか。思ったことや活動を通して気づいたこと、感想などを紹介してください。気づいたことなどをワークシートに簡単にメモをとってもいいです。(しばらく待つ。)

## 8. まとめ

◇家庭教育手帳  
◇家庭教育10か条  
・読み合わせ

○気づいたことをみなさんに紹介してくださる人はいませんか?(進行役からの指名でもよい。)そうですね。子育てをしていくときに大事にしたいことはいろいろありますね。どれが1番というわけではなく、どれも大事ですね。それぞれの家庭で、大事にしたいことを「家庭のルール」として親子で作って、一緒に取り組んでいこうとすることが大事ですね。

進行役の経験で、家庭のルールを作っている場合はそれを紹介してもよい。

### Ⅲ 準備物

準備物	使用段階	留意点等
○ワークシート(人数分)	展開と まとめ	・「わが家の1か条」づくりと振り返りの2箇所を使う。用紙は、必要に応じて縮小して使う。(基本はA4版)

### Ⅳ 【家庭教育手帳、くまもと家庭教育10か条】関連ページ

○平成21年版ドキドキ子育て(家庭教育手帳乳幼児編)	まとめ	・「平成21年版P41～P51」が関連がある。 関連ページを進行役が読んだだけでは、参加者の心に残りにくい。印刷する等の工夫を。
○「くまもと家庭教育10か条」	まとめ	・「くまもと家庭教育10か条」は、どの条も本プログラムと関連があるので、どの条も紹介したり読み合わせをしたりするほうが望ましい。

### V その他

Q：本講座で考えられる工夫は？

A：①「わが家のルールづくり」の作品を紹介するとき、可能であれば、「子育てどぎゃん」のDVDを見せる。

②「家庭教育10か条」だけでなく、「熊本県子ども輝き条例」を紹介する。

【わが家のルールづくり】

文部科学省

ホームページ

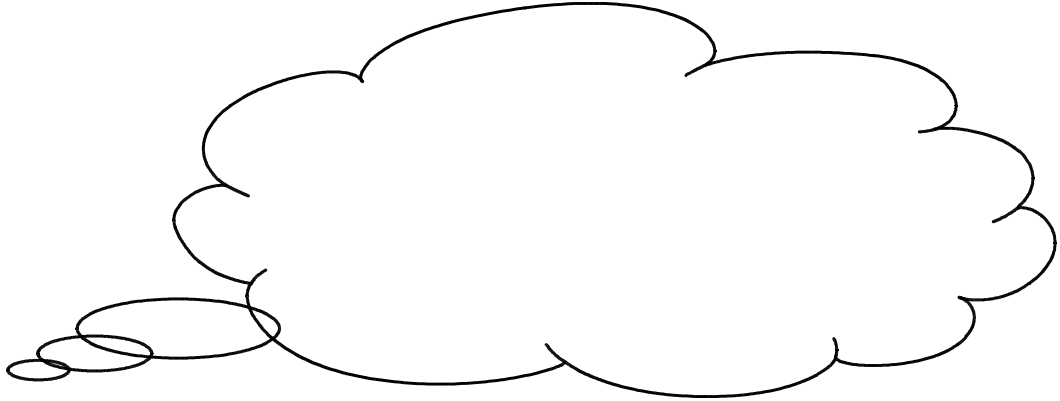
→

わが家のルール

を検索！

## ワークシート

◇あなたの家の「1か条」、家庭のルールを作ってみましょう。



◇今日の講座をとおして、気づいたことや感じたことを書きましょう。

A large, empty rectangular box with a dashed border, intended for writing reflections from the lecture.

### 〔「わが家の1か条」づくり〕の ワンポイントアドバイス

○ここで取り上げる「わが家の1か条」は、標語ではありません。だから、無理して「5, 7, 5」に合わせる必要はありませんよ。